

# 【2021 新潟県合同トレセンスタッフ研修会 実施報告】

技術委員会

2021年4月10日(土)・11日(日)

コロナウイルス感染防止に細心の注意を払い、JFA コーチの木村・岡本 (GK 担当) 両氏においで頂き、4月10日(土)にU-12 及びGK、11日(日)にU-14の2021年トレセンメニュー伝達講習を実施いたしました。

昨年はコロナ禍により、リモートでの講習だっただけに、この度は両日ともに受講された指導者の皆様のモチベーションも高くレクチャーと指導実践が行われました。



【テーマ】U-12 ・ゴールを奪う ・ボールを奪う ・ゴールを目指す ・ゴールを目指す(崩し)

\*選手に応じてメニューを臨機応変に変更することも大切です。

## 木村 JFA コーチ

U-12 においては木村 NTC より「この年代の選手に**獲得してもらいたいポイント**を指導者が指導実践することで共有すること。併せてトレーニング環境や実際の指導場面において、多くを求めすぎずに**プレーの優先順位**を大切にしてもらいたい。」また「**目の前の選手を観て、分析の上で改善**していくことが大切です。」とのコメントありました。

## 岡本 JFA コーチ (GK 担当)

U-12 では「**獲得させたい正確な技術を明確に**することが大切です。」トレーニングの**難易度を落として**でもまたは言葉についてもわかりやすく**落とし込んで**コーチングするべき。

U-14 についても正確な技術の獲得というポイントは U-12 と変わらないが、「**加えてリアリティーを**求めるために**動きの中で状況判断**を求めていくこと、選手に応じてコーチの**配球によって難易度を変えて**いく必要。」とのコメントあり。



【テーマ】U-14 ・攻防(攻撃:フィニッシュ 守備:ゴール前) ・守備 ・攻撃(ビルドアップ) ・攻撃(崩し)

\*木村 JFA コーチより「JFA のメニューがすべてではなく、目の前の選手を観て指導してもらいたい。」

「U-14 においてはすべてのトレーニングが**3ゾーン**に分けた中で**オーガナイズ**されている。**ゲームのイメージ**を持たせ、リアリティーのある動きの中でトレーニングしてもらいたい。」また「U-14では**状況判断のある中で、守備のハードワークと強度**を挙げることにさらに**オフ・ザ・ボールのポジショニング**にもアプローチしてもらいたい。」さらに、近年の北信越の選手のクオリティーから「**選手選考**に関しては、**ストロングポイント**を持った選手、何かに**特化**した選手を発掘・育成してもらいたい。」とのコメントありました。



(文責: 47FA ユースダイレクター 本間 正人)